

- 1 軽度書字が遅いか字が小さい。
 - 2 中等度に遅いか字が小さい。すべての語は読める。
 - 3 高度に障害。すべての語が読めるわけではない。
 - 4 語の大多数は読めない。
9. 食べ物のカット、食器の取り扱い
- 0 正常
 - 1 いくらか遅くごちないが、助けはいらない。
 - 2 遅くごちないが、たいていの食餌はカットできる。部分的に介助。
 - 3 食べ物は他の人に切ってもらわないといけませんが、ゆっくりと食べられる。
 - 4 他人に食べさせられる。
10. 着衣
- 0 正常
 - 1 いくらか遅いが、介助は要しない。
 - 2 ボタンを留める。そでに腕を通すなどで時に介助を要する。
 - 3 いくらか自分でできることもあるが、かなり介助が必要。
 - 4 自分では何もできない。
11. 衛生（入浴・トイレ）
- 0 正常
 - 1 やや遅いが介助は要しない。
 - 2 シャワーや入浴に介助を要する。とても遅い。
 - 3 洗顔・歯磨き・くし・風呂に行くなど介助を要する。
 - 4 膀胱カテーテル。
12. 寝返りおよびシーツをなおす
- 0 正常
 - 1 すこし遅く、不器用だが、介助は必要ない。
 - 2 ひとりで寝返りをうったりシーツを直せるが、たいへんな努力を要する。
 - 3 寝返りやシーツをなおす動作は始められる。しかし完結できない。
 - 4 自分ではまったくできない。
13. 転倒（すくみ現象とは関係なしに）
- 0 なし
 - 1 まれに転倒
 - 2 時々転倒。平均して一日に一回はない。
 - 3 平均して一日一回転倒。
 - 4 一日数回転倒。
14. 歩行中のすくみ
- 0 なし
 - 1 歩行中にまれにすくみ。歩き始めにすくむことがある。
 - 2 時々歩行中にすくむ。
 - 3 しばしばすくむ。これにより時に転倒する。
 - 4 しばしばすくみ足により転倒する。

15. 歩行

0 なし

- 1 軽度障害。腕の振りが無かったり、足を引きずることがある。
- 2 中等度障害。しかし介助はほとんどいらぬか不要。
- 3 高度障害。介助を要する。
- 4 介助をもってしても歩行不能。

16. 振戦

0 ない

- 1 軽度そしてまれにある。患者にとっては煩わしくない。
- 2 中等度。患者は気になる。
- 3 高度。多くの日常生活動作ができない。
- 4 著明。ほとんどの日常生活動作が妨げられる。

17. パーキンソン症候群に関連した感覚障害

0 なし

- 1 時々感覚鈍麻、ちくちく、または痛みを感じる。
- 2 しばしば 感覚鈍麻、ちくちく、または痛みを感じる。苦痛ではない。
- 3 しばしば痛みを感じる。
- 4 耐え難い痛み。

Part3: 運動機能検査 (on時に検査する)

18. 言語

0 正常

- 1 表現、用語、and/or 声量の軽度の障害がある。
- 2 中等度の障害。単調で不明瞭だが理解できる。
- 3 著しい障害。理解が困難。
- 4 理解不能

19. 顔の表情

0 正常

- 1 わずかに表情が乏しい。ボーカークフェース。
- 2 軽度だがあきらかな表情の減少。
- 3 中等度の表情の乏しさ。口を閉じていないときがある。
- 4 仮面様で、ひどくあるいは完全に表情がない。口は0.6cm以上開いている。

20. 安静時の振戦

・顔面

0 なし

- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・左手

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・右手

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・左足

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・右足

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

2 1. 手の動作時または姿勢時振戦

・左

- 0 ない
- 1 軽度；動作にともなっておこる。
- 2 中等度の振幅；動作にともなっておこる。
- 3 中等度の振幅；動作時，姿勢時におこる。
- 4 著明な振幅。食事が妨げられる。

・右

- 0 ない
- 1 軽度；動作にともなっておこる。
- 2 中等度の振幅；動作にともなっておこる。
- 3 中等度の振幅；動作時，姿勢時におこる。
- 4 著明な振幅。食事が妨げられる。

2 2. 固縮（患者は座位で安静にしている。主要な関節で判断する。歯車現象は無視。）

・頸部

- 0 ない

- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮。しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮。関節可動域に制限あり。

・左上肢

0 ない

- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮。しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮。関節可動域に制限あり。

・右上肢

0 ない

- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮。しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮。関節可動域に制限あり。

・左下肢

0 ない

- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮。しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮。関節可動域に制限あり。

・右下肢

0 ない

- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮。しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮。関節可動域に制限あり。

2.3. 指タップ（親指と示指をなるべく大きく早くタップする。左右は別々に）

・左

0 正常（ $\geq 15 / 5$ 秒）

- 1 すこしおそいか、振幅が減少している。（ $11 - 14 / 5$ 秒）
- 2 中等度の障害。疲れやすい。ときどき運動が止まることがある。（ $7 - 10 / 5$ 秒）
- 3 著明な障害。はじめにしばしばすくむ。または運動中にとまる。（ $3 - 6 / 5$ 秒）
- 4 ほとんどできない。（ $0 - 2 / 5$ 秒）

・右

0 正常（ $\geq 15 / 5$ 秒）

- 1 すこしおそいか、振幅が減少している。（ $11 - 14 / 5$ 秒）
- 2 中等度の障害。疲れやすい。ときどき運動が止まることがある。（ $7 - 10 / 5$ 秒）
- 3 著明な障害。はじめにしばしばすくむ。または運動中にとまる。（ $3 - 6 / 5$ 秒）

- 4 ほとんどできない。(0-2/5秒)
24. 手の動作(できるだけ大きく、すばやく手の開閉をくり返す。左右は別々に)
- ・左
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。ときに運動が止まることがあっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくみ、運動がとまる。
 - 4 ほとんどできない。
- ・右
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。ときに運動が止まることがあっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくみ、運動がとまる。
 - 4 ほとんどできない。
25. 手の回内回外運動。垂直や水平の位置で、できるだけ大きく。左右は別々に。
- ・左
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくむ。あるいは途中で止まる。
 - 4 ほとんどできない。
- ・右
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくむ。あるいは途中で止まる。
 - 4 ほとんどできない。
26. 下肢の敏捷性。下肢をあげてかかとで床をタップする。かかとは7.5cmあげる。
- ・左
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくむか運動が止まる。
 - 4 ほとんどできない。
- ・右
- 0 正常
 - 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
 - 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。
 - 3 著明な障害。しばしば開始時にすくむか運動が止まる。
 - 4 ほとんどできない。

27. イスから立ち上がる。(まっすぐの背もたれの木か金属のイス、腕を組んだまま立ち上がる)
- 0 正常
 - 1 遅い、または1度でうまく行かないことあり。
 - 2 肘掛けに腕をつけて立ち上がる。
 - 3 イスにふたたび倒れ込む。一度ではうまく行かないことあり。介助なしで立ち上がれる。
 - 4 介助なしでは立ち上がれない。
28. 姿勢
- 0 正常
 - 1 軽度の前屈姿勢。高齢者では正常な程度。
 - 2 中等度に前屈姿勢。明らかに異常。すこし左右一方に偏っていても良い。
 - 3 高度に前屈姿勢で、脊柱後彎(亀背)をともなう。中等度に左右一方に偏っていてもよい。
 - 4 高度の前屈姿勢。姿勢は極端に異常である。
29. 歩行
- 0 正常
 - 1 歩行は緩慢。数歩はひきずり足になる。加速歩行や前方突進はない。
 - 2 歩行は困難をともなう。介助は要しない。加速歩行や数歩の前方突進あり。
 - 3 いちじるしく障害。介助を要する。
 - 4 介助があっても歩行不能。
30. 姿勢の安定性。(患者はまっすぐに立ち、開眼し、足はすこし開いて準備する。肩を後方に勢いよく引いて後方突進現象をみる)
- 0 正常
 - 1 後方突進あり。自分で立ち直れる。
 - 2 姿勢反射がおきない。検者が支えなければ倒れてしまう。
 - 3 きわめて不安定。自然にバランスを失う。
 - 4 介助なしでは立てない。
31. からだの動作緩慢。(動作緩慢、ちゅうちょ、腕の振りの減少、運動の振幅の減少と運動全体の少なさを総合的に評価する)
- 0 なし
 - 1 わずかに緩慢。ゆっくりとした動作。人によっては正常のこともある。運動の振幅がやや小さいこともある。
 - 2 軽度に動作が緩慢。運動量があきらかに低下している。運動の大きさがやや低下。
 - 3 中等度に動作が緩慢。運動量が低下し、または運動の大きさが低下している。
 - 4 著明に動作が緩慢。運動量の低下。または運動の大きさが低下している。

Part4: 治療の合併症

A. ジスキネジア

32. 持続時間(起きている時間の何%か)

- 0 なし
- 1 1-25%

- 2 26-50%
 - 3 51-75%
 - 4 76-100%
33. ジスキネジアによる障害.
- 0 なし
 - 1 軽度障害
 - 2 中等度障害
 - 3 重度に障害
 - 4 完全な障害 (なにもできない)
34. 痛みをともなうジスキネジア. どのくらい痛いか.
- 0 なし
 - 1 軽度
 - 2 中等度
 - 3 重度
 - 4 著明な障害
35. 早朝のジストニア
- 0 なし
 - 1 あり

B. 症状の日内変動

36. 服薬時間から予測可能なオフ期間はあるか.
- 0 なし
 - 1 あり
37. 服薬時間から予測不可能なオフ期間はあるか.
- 0 なし
 - 1 あり
38. とつぜん (数秒以内など) おこるオフ期間はあるか
- 0 なし
 - 1 あり
39. 起きている時間の何%が平均してオフ期間か.
- 0 なし
 - 1 1-25%
 - 2 26-50%
 - 3 51-75%
 - 4 76-100%

C. その他の合併症状

40. 患者は食欲低下, 嘔気, 嘔吐をともなっているか.
- 0 なし
 - 1 あり
41. 不眠や眠気があるか.
- 0 なし

1 あり

42. 起立性低血圧症状はあるか。

0 なし

1 あり

4. ハミルトンうつ病評価尺度 17 項目バージョン (HAM-D)

下記の各項目について、最近一週間の症状に最も近い番号を選択してください。

- 1 抑うつ気分（悲哀感、絶望感、無力感、自信喪失感）
 - 0 なし
 - 1 聞かれた場合にのみ、抑うつ気分を訴える
 - 2 自発的に、言葉で抑うつ気分を訴える。
 - 3 抑うつ気分を言葉以外（表情、態度、声、よく泣く）の方法で訴える。
 - 4 抑うつ気分が、言葉や言葉以外の行動の端々に現れている。

- 2 罪業
 - 0 なし
 - 1 自己批難し、ほかの人を気落ちさせてしまうと考える（自責感）。
 - 2 過去の過ちや悪行に対して沈黙思考する。またはそれに対する罪悪感を持つ（罪業念慮）。
 - 3 うつ症状を罰だと考える（罪業妄想）。
 - 4 非難や弾劾的な幻聴が聞こえる。幻覚症状がある。

- 3 自殺
 - 0 なし
 - 1 生きるだけの価値が無いと思う。
 - 2 死を願う、または考える。
 - 3 希死念慮がある、または自殺の意思表示を行う。
 - 4 自殺企図がある（深刻な自殺未遂は、すべてこの「4」に属する）。

- 4 入眠障害
 - 0 なし
 - 1 ときおり寝付きが悪い（30分以上）。
 - 2 毎晩寝付きが悪い。

- 5 熟眠障害
 - 0 問題なし
 - 1 夜間、落ち着かず睡眠が途絶えがちになる。
 - 2 夜中に目が覚める。寝床から出る場合は、すべてこの「2」に属する（排泄時は除く）。

- 6 早朝睡眠障害
 - 0 問題なし
 - 1 早朝に覚醒するが、再び眠ることができる。
 - 2 早朝に覚醒し、再び眠ることができない。

- 7 仕事と興味

0 問題なし

1 仕事や趣味などのアクティビティに関して無力感、倦怠感、虚弱感がある。

2 仕事や趣味などのアクティビティに関する興味の欠如。本人による直接の訴えや、関心の欠如、ためらい、迷いなどの間接的な場合がある。(仕事やアクティビティを、自分自身に強制する必要性を感じる)。

3 アクティビティに費やす時間や生産性の減少。病院では、1日に3時間以上をアクティビティに費やさない場合は、「3」とする。

4 うつ症状のため、作業を放棄。病院では、病棟の雑用以外のアクティビティに参加しない場合、または病棟の雑用を一人でできない場合は「4」とする。

8 精神運動抑制(思考や会話の遅延、集中力の低下、自発的運動の減少など)

0 問題なし

1 インタビュー時、わずかな遅延が表れる。

2 インタビュー時、顕著な遅延が表れる。

3 インタビューが困難。

4 完全な昏迷状態。

9 激越

0 なし

1 落ち着きがない。

2 手や髪などを触る。

3 落ち着きがなく、じっと座っていることができない。

4 手を動かさず、爪を噛む、髪を抜く、唇を噛むなどの動作を行う。

10 精神的不安

0 なし

1 緊張、いらいらする傾向にある。

2 些細な物事が気になる。

3 不安感が表情や会話に現れる。

4 常に恐怖に怯えている。

11 身体的不安(不安感に伴う生理学的発症。胃腸に関しては口渇、ガス、消化不良、下痢、腹痛、げっぷが、心臓血管に関しては動悸や頭痛が、呼吸に関しては過換気やためいきが、それぞれ発症する。その他、頻尿や多汗など。)

0 なし

1 軽度。

2 中度。

3 重度。

4 身体障害の発生。

12 消化器系の身体症状

- 0 なし
- 1 食欲不振だが自主的に食事をする。胃がもたれる。
- 2 強制されないと食事をしない。下剤や胃腸薬を要する。

1.3 一般的な身体症状

- 0 なし
- 1 手足、背中、頭が重い。背中痛み、頭痛、筋肉痛、体力の低下、疲労感など。
- 2 その他の明らかな症状が認められる場合は、この「2」に属する。

1.4 生殖器に関する症状（性欲の低下、生理不順など）

- 0 なし
- 1 軽度。
- 2 重度。

1.5 心気症

- 0 なし
- 1 身体のことばかり考える。
- 2 健康に気をとられる。
- 3 不満を漏らす、助けを求めると。
- 4 心気症的妄想を抱く。

1.6 体重の減少

A) 過去の経緯と比較した場合

- 0 なし
- 1 うつ病に起因する体重の減少。
- 2 絶対的な体重の減少（患者による申告）。

B) 精神科医による毎週の体重検査において、体重の変化が実際に測定された場合

- 0 週に1ポンド（500g）未満の減少。
- 1 週に1ポンド（500g）以上の減少。
- 2 週に2ポンド（1000g）以上の減少。

1.7 病識

- 0 うつの症状を認め、病気であることを認識している。
- 1 病気であることを認識しているが、食物、気候、過労、ウイルス、休息不足などが原因だと考えている。
- 2 病気であることを認めない。

5. 自覚症状

(登録時)

日常生活動作について、この1週間は

日常生活動作とは、食事・着衣・移動・入浴・トイレ・寝返り・など生活を営む上で不可欠な基本的行動のことです

- 1 完全に自立しており特に困ることはない
- 2 一部困ることがあるがすべて自分でできる
- 3 一部困ることがあり時にひとの助けが必要
- 4 自分でできる部分もあるがかなり助けが必要
- 5 自分では何もできない

振戦（ジスキネジアを除く）について、この1週間は

- 1 全くふるえない
- 2 ほとんどふるえず、気にならない
- 3 ふるえるが生活に困らない
- 4 ふるえて時々困る
- 5 ふるえるため、ほとんどの日常生活動作を妨げる

(来院二回目以降)

日常生活について、この1週間は治療前と比べて

- 1 とても悪い（とても悪くなった）
- 2 悪い（悪くなった）
- 3 ふつう（変わらない）
- 4 よい（よくなった）
- 5 とてもよい（とてもよくなった）

振戦について、この1週間は治療前と比べて

- 1 とても悪い（とても悪くなった）
- 2 悪い（悪くなった）
- 3 ふつう（変わらない）
- 4 よい（よくなった）
- 5 とてもよい（とてもよくなった）

6. やる気スコア (Starkstein) 島根大学第三内科版

1) 新しいことを学びたいと思いますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
2) 何か興味をもっていることがありますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
3) 健康状態に関心がありますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
4) 物事に打ち込めますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
5) いつも何かしたいとおもっていますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
6) 将来のことについての計画や目標をもっていますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
7) 何かをやろうとする意欲はありますか?	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
8) 毎日張り切ってすごしていますか	全くない 3	少し 2	かなり 1	おおいに 0
9) 毎日何をしたらいいか誰かに言ってもらわなければなりませんか?	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3
10) 何事にも無関心ですか?	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3
11) 関心をひかれるものなど何もないですか?	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3
12) 誰かに言われないと何もしませんか?	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3
13) 楽しくもなく、悲しくもなく、その中間位の気持ちですか	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3
14) 自分自身にやる気がないと思いますか?	全く違う 0	少し 1	かなり 2	まさに 3

表1 やる気スコア(Starkstein)島根医科大学第三内科版

- 1) 新しいことを学びたいと思いますか?
- 2) 何か興味を持っていることがありますか?
- 3) 健康状態に関心がありますか?
- 4) 物事に打ち込めますか?
- 5) いつも何かしたいと思っていますか?
- 6) 将来のことについての計画や目標を持っていますか?
- 7) 何かをやろうとする意欲はありますか?
- 8) 毎日張り切ってすごしていますか?
- (評価: 全くない3 少し2 かなり1 おおいに0)
- 9) 毎日何をしたらいいか誰かに言ってもらわなければなりませんか?
- 10) 何事にも無関心ですか?
- 11) 関心を惹かれるものなど何もないですか?
- 12) 誰かに言われないと何もしませんか?
- 13) 楽しくもなく、悲しくもなく、その中間位の気持ちですか?
- 14) 自分自身にやる気がないと思いますか?
- (評価: 全く違う0 少し1 かなり2まさに3)

Cutoff score 16 points

6. NMSQ 日本語版

The NMS questionnaire

過去一ヶ月間の状態をもとにして、以下の問いに対して、“ハイ”か“イエ”で答えて下さい。

ハイ イエ

1. 日中によだれがこぼれますか？
2. 味やおいの感覚がおかしいですか？
3. 食べ物や飲み物が飲み込みにくいですか？あるいはかみにくいですか？
4. 吐きそうになったり、吐いたりしましたか？
5. 週に3回以上便秘がありますか？また、気張らないとできませんか？
6. 便秘禁をしましたか？
7. 便をしたあとでも、お腹に残っている感じがしますか？
8. 尿をするのがトイレまで持たない感じがありますか？
9. 毎夜、排尿するために目覚めますか？
10. 説明の出来ないような痛みがありますか？（関節炎などでは、説明できない）
11. 説明の出来ない体重減少がありますか？（食事の変化などで説明が出来ない）
12. 最近起こったことを忘れて、何かをし忘れることがありますか？
13. 周りで起こっていることや、しなければならぬことに興味が無くなりましたか？
14. あなたが視たり聴いたりしたと思ったことが、現実ではなかったことがありますか？
15. 集中することが出来にくくなりましたか？
16. 何となく悲しく感じるようになりましたか？
17. 何となく不安だったり、怖かったり、パニックを起こしそうになりましたか？
18. 性欲が亢進していたり反対になくなりましたか？
19. インポテンツになりましたか？
20. 頭暈感、浮遊感、あるいは立ち上がりや起き上がりの時のふらつきがありましたか？
21. 転倒はありましたか？
22. 仕事で、運転中あるいは食事中に寝てしまうことがありますか？
23. 眠れなかったり、一晩中起きていたことがありますか？
24. 現実と間違えるような夢や怖い夢を見ましたか？
25. 夢の中で話したり経験したことが現実であるかのように感じましたか？
26. 寝て居るときに脚に変な感じがして動かしたくなりましたか？
27. 脚のむくみがありましたか？
28. 異常に汗をかきましたか？
29. ものが二重に見えましたか？
30. 他の人が否定することを、自分では起こったこととして信じていますか？

東京大学大学院医学系研究科
 臨床試験データ管理学講座 宛
 FAX

補足運動野反復磁気刺激 登録票

パーキンソン病における補足運動野反復磁気刺激の臨床効果に関する多施設共同無作為化比較試験への登録を連絡します。

登録日： 年 月 日

実施医療機関名 (科名)	()		
担当医師名			
被験者識別番号			
同意取得	<input type="checkbox"/> ：本人文書同意	年	月 日
	<input type="checkbox"/> ：代諾者文書同意	年	月 日
	本人口頭同意	年	月 日

患者さん本人から文書による同意を取得し、下記適格性を確認した後、この登録票をデータ管理者あてに FAX で連絡願います。なお、書字困難により本人から文書同意を得られない場合には本人より口頭同意を取得し、その代諾者の文書同意を得てください。

選択基準		
UK Parkinson's Disease Society brain bank のパーキンソン病診断基準でパーキンソン病と診断された病患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
今までに磁気刺激を受けたことがない患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
外来通院が可能な患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
内服薬・生活環境は変更しないことに同意できる患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
Hoehn-Yahr 重症度分類(5段階評価:1、最軽症;5、最重症)で2から4の患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
同意取得時において年齢が20歳以上の患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
本試験の参加にあたり十分な説明を受けた後、十分な理解の上、患者本人の自由意思による文書同意が得られた患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
除外基準		
口以外の頭部に金属が存在する患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
心臓ペースメーカー・薬物治療ポンプ留置を受けた患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
心臓ペースメーカー・ステントを持つ患者および重篤な心臓病患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
大きな脳の梗塞・頭部外傷後・脳腫瘍・てんかん患者(痙攣誘発の危険性が増すため)	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No
妊娠中または妊娠を計画する女性患者	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No

一項目でも不適または空欄がある場合、登録できません。

〇〇大学病院 神経内科

〇〇先生 御机下

FAX

補足運動野反復磁気刺激 割り付け票

パーキンソン病における補足運動野反復磁気刺激の臨床効果に関する多施設共同無作為化比較試験での割り付けを連絡します。

登録日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

割り付け日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

実施医療機関名 (科名)	(_____)		
担当医師名	_____		
被験者識別番号	_____		
同意取得	<input type="checkbox"/> : 本人文書同意	_____ 年 _____ 月 _____ 日	
	<input type="checkbox"/> : 代諾者文書同意	_____ 年 _____ 月 _____ 日	
	本人口頭同意	_____ 年 _____ 月 _____ 日	
被験者 割り付け番号	_____		
刺激方法	_____		

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業

「反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立」班

主任研究者 宇川義一

<データセンター>

東京大学大学院医学系研究科

臨床試験データ管理学講座

IV. 開 催 会 議

平成 20 年度 班会議

日 時： 平成 20 年 5 月 31 日（土曜日）14：00～

場 所： 東京大学医学部附属病院レセプションルーム
東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院
電話 03-3815-5411

班会議内容：

1. 主任研究者より 福島県立医科大学 宇川義一
2. 今年度の研究計画について：概要説明 東京大学 濱田 雅
3. 研究計画についての討議

出席者：宇川義一・榎本博之・望月仁志・廣瀬正樹・辻 貞俊・魚住武則・玉川 聡・
村瀬永子・飛松省三・緒方勝也・佐久間研二・福留隆泰・横地房子・
清水俊夫・花島律子・濱田 雅・代田悠一郎・寺尾安生・弓削田晃弘・
松本英之・生駒一憲・松永 薫・小森哲夫・阿部達哉・小林正人・
齋藤洋一・細見晃一・杉山憲嗣・田中篤太郎・大橋寿彦・宮城 靖・
山田郁子・工藤里美・高野詩帆

以上 35 名

V. 研究成果の発刊に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Yokochi F & Burbaud P.	Neurosurgery for Neuroacanthocytosis.	R.H.Waker ed.	Neuroacanthocytosis Syndromes II.	Springer-Verlag		2008	255-269

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hamada M, Ugawa Y, Tsuji S.	High-frequency rTMS of supplementary motor area for the treatment of Parkinson disease.	Mov Disord	23	1524-1531	2008
Hamada M, Terao Y, Hanajima R, Shirota Y, Nakatani-Enomoto S, Furubayashi T, Matsumoto H, Ugawa Y.	Bidirectional long-term motor cortical plasticity and metaplasticity induced by quadripulse transcranial magnetic stimulation.	J Physiol	586	3927-3947	2008
魚住武則, 武智詩子, 辻 貞俊	磁気刺激法の臨床応用	まぐね	3(2)	94-100	2008
魚住武則, 武智詩子, 辻 貞俊	錐体外路疾患への磁気刺激の応用	脳筋波	50(6)	339-346	2008
佐久間研司, 村上文伸, 中島健二	Triple stimulation technique を用いた脊髄小脳変性症, パーキンソン病類縁疾患での皮質脊髄路機能の検討.	臨床脳波	50	27-31	2008
Murakami T, Sakuma K, Nomura T, Nakashima K, Hashimoto I.	High-frequency oscillations change in parallel with short-interval intracortical inhibition after theta burst magnetic stimulation.	Clin Neurophysiol	5	301-308	2008
Murakami T, Sakuma K, Nomura T, Uemura Y, Hashimoto I, Nakashima K.	Changes in somatosensory-evoked potentials and high-frequency oscillations after paired-associative stimulation.	Exp Brain Res	184	339-347	2008
Hosono Y, Urushihara R, Harada M, Morita N, Murase N, Kunikane Y, Shimazu H, Asanuma K, Uguisu H, Kaji R.	Comparison of monophasic versus biphasic stimulation in rTMS over premotor cortex: SEP and SPECT studies.	Clin Neurophysiol	119	2538-2545	2008
Arai N, Yokochi F, Ohnishi T, Momose T, Okiyama R, Taniguchi M, Takahashi H, Matsuda H, Ugawa Y.	Mechanisms of unilateral STN-DBS in patients with Parkinson's disease : A PET study.	J Neurol			in press
横地房子	手術療法.	パーキンソン病治療の変遷と今後の展望. ライフサイエンス	28	2395-2399	2008
Hamada M, Okabe S, Ugawa Y, Tsuji S.	High-frequency rTMS of supplementary motor area for the treatment of Parkinson disease.	Mov Disord.	23	1524-1531	2008
Takeuchi N, Tada T, Toshima M, Chuma T, atsuo Y, Ikoma K	Inhibition of the unaffected motor cortex by 1 Hz repetitive transcranial magnetic stimulation enhances motor performance and training effect of the paretic hand in patients with chronic stroke	J Rehabil Med	40(4)	298-303	2008
松永 薫, 中西亮二	rTMS のパラダイムとその効果	認知神経科学	10(1)	55-61	2008
Sağlam M, Matsunaga K, Murayama N, Hayashida Y, Huang YZ, Nakanishi R.	Parallel inhibition of cortico-muscular synchronization and cortico-spinal excitability by theta burst TMS in humans.	Clin Neurophysiol	119(12)	2829-2838	2008
松永 薫, 中西亮二	シータバースト連続磁気刺激のヒト大脳皮質への効果	臨床脳波	51	1-5	2009
Goto T, Saitoh Y et al	Diffusion tensor fiber tracking in patients with central post-stroke pain.	Pain	140	509-518	2008